

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 12 月 28 日作成)

小委員会名	構造工学論文集編集小委員会	主 査 名：吹田啓一郎 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会	委員長名：中島正愛
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・1 編につき 3 名による査読付き論文集『構造工学論文集』を毎年 1 回刊行し、 登載論文を中心としたシンポジウムを開催することにより、産・官・学、各界 の研究者・技術者に学术交流・技術交流の場を提供し、構造工学の一層の発展 を図ることを目的にする。</p> <p>2009～2012 年度</p> <p>・査読付き論文集『構造工学論文集』Vol.55～58B の刊行</p> <p>・第 55～58 回構造工学シンポジウムの開催（論文集掲載論文の発表講演および 討議、特別講演会、建築・土木合同パネルディスカッション）</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無（構造工学にかかわるあらゆる分野が論文の対象となるため、各運営委員会主査 を委員に配するなどして、分野構成には特に考慮している）。	
	<p>主査：吹田啓一郎（京都大学）</p> <p>幹事：稲山正弘（東京大学）、飛田 潤（名古屋大学）、前田匡樹（東北大学）、元結正 次郎（東京工業大学）、和田 章（東京工業大学名誉教授）</p> <p>委員：小河利行（東京工業大学）、壁谷澤寿海（東京大学）、河合直人（工学院大学）、 河野昭彦（九州大学）、高田毅士（東京大学）、中井正一（千葉大学）、中島正愛 （京都大学）、福和伸夫（名古屋大学）、緑川光正（北海道大学）</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2012 年度予算	350,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s11/

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物（シンポジウム資 料等は除く）	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	<p>1. 第 58 回構造工学シンポジウム (参加者数 366 名)</p> <p>資料名：『構造工学論文集 Vol.58B』</p> <p>①特別講演会「地震被害からの教訓は生かされてきたか」(参加者数 104 名)</p> <p>②建築・土木合同パネルディスカッション 「東日本大震災から得た教訓と今後の構造工学」(参加者数 104 名)</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブ リックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られ た成果との関係)	1. すべて滞りなく達成した。
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 主催者である日本学術会議土木工学・建築学委員会並びに共催の土木学会構 造工学委員会・論文集編集小委員会と、論文集出版等の詳細について、今後とも 十分な事前調整が必要。</p> <p>2. 建築分野の投稿論文題数増加に向けた対策。</p>